



色とりどりの葉が舞い落ちる中、肅然と佇む観音堂

Oshu Heritage

# 奥州遺産

No. 27

～ときを越え

受け継がれるもの～

## 千養寺観音堂

〓 水沢区羽田町字門下 〓

ふれあいの丘公園から南東に位置する黒田助集落。その閑静な集落の中心に千養寺観音堂は構えている。延宝5年（1677年）に建立されたと伝わる観音堂。奥州霊場33カ所の第19番札所として、多くの信仰を集めた。現在、有形文化財として県指定を受けている。

桁行<sup>※1</sup>、梁間<sup>※2</sup>ともに6・75<sup>※3</sup>の方三間堂。木鼻<sup>※4</sup>の絵様や台輪<sup>※5</sup>端部の繰り形など、細部の意匠に手の込んだ造りが目を引く。構造は単純明快で、禅宗様式をとる江戸初期の本格的な三間堂として貴重な遺構である。

堂内に千手観音が納められているが、普段、人目に触れることはない。ご開帳は33年に一度の伝えが守られ、地域の守り本尊として受け継がれている。紅葉も終わりを告げ、周囲に色とりどりの落ち葉をまとう観音堂。冷え込む風の中、毅然と構えるその姿は、見る者を静穏な気持ちへと導く。

※1…建物一棟の幅 ※2…建物の奥行き ※3…頭貫<sup>かしらぬき</sup>などの端が柱の外側に突出した部分

広 告



※この広報紙は再生紙と植物油を使用しています。  
※この広報紙は奥州市のホームページでもご覧いただけます。【本紙1部の印刷費用は約28円です。】